



## いわて マナビィ マガジン

No. 233 (令和3年度第18号) 2021.12.24



★-----★

「地域安全防災研修会～命をまもり災害に強い地域をつくるために～」  
が開催されました

★-----★

12月7日に、当センターで「地域安全防災研修会 ～命をまもり災害に強い地域をつくるために～」が開催されました。

(当初、9月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症に係る岩手緊急事態宣言のため、延期して開催しました。)

「地域のつながりや命を守る」という視点から、地域防災や避難所運営上の留意点や方法を学ぶことを目的として開催しましたが、生涯学習・社会教育関係の方々のみならず、学校、地域づくり団体、NPO法人の皆様等、44名にご参加いただきました！

今回は、研修会のプログラムの内容「いわての復興教育・防災教育」や「命をまもり災害に強い地域をつくるために普段からできること」「避難所運営の実際」等について、一部を紹介します。

【テーマⅠ：「いわての復興教育」と「防災教育」】

講師：県教育委員会事務局 学校教育室 産業・復興教育担当  
主任指導主事 小松山 浩樹 氏

「いわての復興教育」プログラムの変遷、3つの教育的価値である「いきる」「かかわる」「そなえる」とそれらの具体21項目、これからの可能性等について、各地域での事例を交えて説明いただきました。学校教育現場だけでなく地域社会全体で取り組む「シームレスな復興教育」につなげていく意義を感じることができました。

～～～講話内容より～～～

《「いわての復興教育」の基本》

- ・「岩手県の教育の根幹」として、沿岸部・内陸部共に全県で取り組む
- ・東日本大震災の教訓  
「諦めない」「自ら考え行動」「つながり（絆）」等  
⇒「新たな可能性」「未来への輝き」
- ・「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成する」  
⇒ひとづくり  
「子どもたちは岩手の宝」「夢や希望を実現」

## 「岩手県との繋がり、絆」

### 《 3 つの教育的価値と具体の 21 項目 》

#### 1 「いきる」

- ・ 命の大切さや自然や畏敬の念に関する事。
- ・ 心のあり方、これからの生き方に関する事。
- ・ 心のサポートに関する事。
- ・ 体力の維持・増進など、身体の健康に関する事。

- ① かけがえのない生命
- ② 自然との共生
- ③ 価値ある自分
- ④ 夢や希望の大切さとやり抜く強さ
- ⑤ 自分の成長
- ⑥ 心の健康
- ⑦ 体の健康

#### 2 「かかわる」

- ・ 家族のきずなや家族の一員としての喜びに関する事。
- ・ 互いに助け合ったり、思いを寄せ合ったりする仲間や地域の方々に関する事。
- ・ 災害後の支援活動における県内外や各国間とのつながり（絆）に関する事。
- ・ 地域づくりに関する事。
- ・ 自然とのつながりに関する事。

- ⑧ 家族のきずな
- ⑨ 仲間とのつながり
- ⑩ 地域とのつながり
- ⑪ ボランティア・救援活動
- ⑫ 自分と地域社会
- ⑬ 復旧・復興のあゆみ
- ⑭ 災害に備える地域づくり

#### 3 「そなえる」

- ・ 震災津波体験（情報・ライフラインの途絶等）や科学的知見・防災リテラシーを踏まえた防災に関する事。
- ・ 災害時の行動に結びつく判断に関する事。
- ・ 災害を想定した日頃の備えに関する事。
- ・ 非常時に生き抜く知恵と衣食住の技能に関する事。
- ・ 災害について学ぶ事。

- ⑮ 自然災害の様子と被害の状況
- ⑯ 自然災害発生メカニズム
- ⑰ 自然災害の歴史
- ⑱ 災害のライフライン・地域経済への影響

- ⑱ 災害時における情報の収集・活用・伝達
- ⑳ 学校・家庭・地域等での日頃の備え
- ㉑ 身を守り、生き抜くための技能

※ 具体の 21 項目に加えて、各学校が地域の実情を踏まえた学校独自の「項目」を設定することができます！

≪「いわての復興教育」の可能性≫

地域との連携を強化！

⇒ 岩手県との繋がり、絆、ふるさとへの誇り、愛着  
地域学校協働活動との関係性を強化！

復興教育推進の成果として

学校側：地域と共にある学校、ひとづくり

地域側：学校を核とした地域づくり、地域の復興、発展

全県で推進している「教育振興運動」のテーマの中にも、東日本大震災津波発災以降、「復興教育」が位置付けられています！

今後とも、コミュニティ・スクールのしくみを活かしながら、地域学校協働活動として、復興教育を進めることがポイントとなります！

↓↓↓↓↓（「いわての復興教育」ホームページへ）

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/fukkou/index.html>

「東日本大震災津波伝承館」（陸前高田市高田松原津波復興祈念公園内）では、東日本大震災津波から 10 年が経過した現在、岩手県内の小・中・高校・特別支援学校で実践している特色ある事例を紹介し、来館者の震災への意識喚起および伝承の在り方を考える機会を提供するため、「いわての復興教育－復興・伝承の担い手として－」をテーマとした企画展示を開催しています！

皆様、ぜひ、お立ち寄りください！

● 展示テーマ

「いわての復興教育－復興・伝承の担い手として－」

● 展示主体

主催：東日本大震災津波伝承館

監修：岩手県教育委員会

● 展示期間

令和 4 年 1 月 9 日（日）まで

※ 年末年始（12/29 から 1/3 まで）は休館

時間：9 時 00 分～17 時 00 分

● 展示場所

東日本大震災津波伝承館 ゾーン4（道の駅側・地域情報スペース）

↓↓↓↓↓（東日本大震災津波伝承館ホームページへ）

<https://iwate-tsunami-memorial.jp/>

【テーマⅡ】

（講義）「そのとき、命をまもり災害に強い地域をつくるために普段からできること」

（演習）「『さすけなぶる』をとおした避難所運営の実際」「東日本大震災の教訓を生かした避難所シミュレーション」

講 師：福島大学 FURE（うつくしまふくしま未来支援センター）  
特任教授 天野 和彦 氏

東日本大震災で大規模な避難所の運営にあたってご自身の豊富な経験をもとに「『被災者の命を守る』というシンプルな考えで迅速に行動すること」「交流と自治を促し、人と人がつながるしくみをつくること」の大切さについてたくさんの具体例を挙げて紹介され、受講者はその説得力に引き込まれていました。

演習では先生から提示された避難所で実際に起こった課題を解決する方法について、グループごとに話し合いました。

受講者は先生の講義から学んだ「人権意識」「交流と自治」等の考え方を活用しながら、主体的に話し合いに参加していました。市民活動の質を高めることが地域力を高めることにつながり、それが防災を含めた「持続可能な社会」の実現の大事な要素になっていくことについて理解を深めることができました。

～～～講話・演習資料より～～～

≪避難所運営の5つのKEY - さすけなぶる-≫

「さ」りげなく

被災者の声に耳を傾け、生活環境の改善を進めよう。

（声には「大きな声」と「小さな声」があることを忘れずに）

「す」ばやく

被災者の生活（暮らし）実態や課題をしっかりと把握しよう。

（時間経過によるニーズ変化があることを忘れずに）

「け」むたがらず

被災者同士、被災者と支援者等が交流できる場をつくろう。

(主体は被災者であることを忘れずに)

「な」いものねだりをやめて、あるもの活用  
地域の専門機関や団体等のネットワークを活用し、課題解決を進めよう。(「できない」ではなく、「どうすればできるか」の視点を!)

「ふる」さとのような  
被災者の参画による自治的な組織をつくろう。  
(避難生活は、生活再建の第一歩であること忘れずに)

《モノの防災から考え方の防災へ!》

- ・ 90年前の避難所と今の避難所がほとんど同じ環境である事実。  
(震災関連死や生活再建の妨げとなる「劣悪な避難所生活」)
- ・ イタリアの避難所に被災後真っ先に届く3つのもの
  - ① トイレ! おまけに広い! キレイ! 車椅子対応も!
  - ② キッチンカー! アルファ米やお弁当じゃない! なんと1台で1時間に1000食!
  - ③ ベッド! 避難所では室内でも特大テントでプライバシーもばっちり!

《災害を人権の視点で捉えなおす》

- ・ 避難所(地域)におけるコミュニティ形成  
「交流」の場の提供と「自治」活動の促進  
+  
「生命を守る」活動と「生きがいと居場所づくり」の活動  
⇒住民間のつながる力  
⇒コミュニティ意識の醸成
- ・ 被災地・福島の教訓  
コミュニティが崩壊してしまった地域があるということ  
=人がバラバラになっているということ  
=寂しいと人は死んでしまう  
さみしくさせないために、交流と自治が大切  
全国でも同じ課題がある!  
人と人がつながるしくみを!
- ・ 災害復興と市民活動  
東日本大震災における教訓
  - ・ ・ ・ 住民間のつながりが深い地域ほど災害に強い
  - ・ ・ ・ その地域が平時より準備している以上のことはできない
  - ・ ・ ・ それまでの地域課題が顕在化する  
それらを超えていくには…

市民活動を高めること＝地域力の高まり  
「地域の総合力」が「持続可能な社会」を実現させる  
復興・・・社会の持つ脆弱性の克服⇒社会変革

★-----★  
各種研修会の開催要項を随時掲載しています  
(本年度の研修会も、残りわずかです！)  
★-----★

【今後の研修会等実施予定】

2月 3日(木)～4日(金)

県生涯学習推進研究発表会

14日(月) 子育て・家庭教育相談担当者研Ⅱ

※開催要項・実施報告書は、当センターのHP「まなびネットいわて」で  
ご覧ください。(中段の「新着情報」または上段の「事業計画・研修講座  
要項」内に掲載中)

↓↓↓↓↓

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

※開催の有無、実施方法・内容の変更等があればHPでもお知らせします。

【生涯学習電話相談「マナビィコール」】

研修会・講師情報等のお問い合わせ等は下記までお気軽にどうぞ！

当センターで行っている「学び」全般の相談ダイヤルです。

↓↓↓↓↓

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/soudanshien/manabiikoru.html>

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

▶ご意見・ご感想、登録・登録解除等は下記アドレスまで

⇒ E-mail ; mag-manabee@pref.iwate.jp

▶生涯学習・社会教育関連情報は当センターHPから

⇒ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

▶当センターの情報をSNSにて配信中

【Facebook】<https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate> Facebook・Twitter

|||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||iwatemanabeemagazine|||||

発行：岩手県立生涯学習推進センター (花巻市北湯口 2-82-13)

編集：菊池 一洋